

(様式 17)

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称	博士 (医 学)	氏 名	羽場 真
主査	教授	平野 聡	
審査担当者	副査	准教授	神山 俊哉
	副査	教授	武藏 学
	副査	教授	坂本 直哉

学 位 論 文 題 名

Diagnostic ability and factors affecting accuracy of endoscopic ultrasound-guided
fine needle aspiration for pancreatic solid lesions:
Japanese large single center experience
(膵充実性病変に対する超音波内視鏡下穿刺吸引法の診断能と
その正診率に影響を与える要因に関する研究)

この学位論文は、膵充実性病変に対する病理学的診断法として超音波内視鏡下穿刺吸引法 (Endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration ; EUS-FNA) を用い、その診断能と正診率に影響を与える要因についてまとめたものである。膵充実性病変に対する EUS-FNA による診断能は高く有用な方法であることを明らかにし、正診率は様々な要因に影響うけ、手技に際しては工夫を行うことによりその診断能を向上させることを明らかにしている。

審査においては、1) これまでの報告に加えて本研究で新たに得られた事実、2) 今後、EUS-FNA を行うにおいてさらに正診率を向上するための方法として考えられること、などについての質問がなされ、それぞれについて以下の通り回答がなされた。1) 本研究では 1000 例近い連続する症例に対して検討を行ったことと、より高い精度で診断能のデータを提示できたことを説明された。さらに複数の要因について多変量解析を行うことにより、診断能に影響を与える要因を明らかにした点で、これまでの報告にない新たな知見が得られたとの説明がなされた。2) EUS-FNA の診断能は、穿刺する針の改良や、採取の際に様々な工夫を加えることにより、さらに向上する可能性がある」と回答された。

この論文は、画像診断のみでは鑑別診断が時として困難となる膵充実性病変に対する EUS-FNA の診断能を多数例において検討し、その有用性を明らかにするとともに、正診率に影響を与える要因を明らかにした点で高く評価され、今後の本検査法の成績向上に大いに寄与することが期待される。

審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。